

市営バスにおける印場駅～愛知医大間試験運行の継続実施について（協議事項）

【協議内容】

令和6年9月から実施している、印場駅～愛知医大間の試験運行に関し、引き続き利用状況を注視する必要があることから、試験運行を継続実施することについて協議します。

1 試験運行の概要

- (1) 試験運行実施の理由
- 西ルート左回り1便において、市の西部地域から愛知医大への移動が集中することで乗りこぼしが発生していたことから、利用者の分散等を目的として、印場駅から愛知医大までの早朝特別ダイヤを試験的に設定。
- （試験運行便ダイヤ 印場駅 8：10発 → 愛知医大 8：35着）
- (2) 試験運行期間
- 令和6年9月2日（月）～令和7年8月29日（金）の平日

2 西ルート左回りでの乗りこぼし発生件数

(1) 西ルート左回りの利用者数・乗りこぼし発生件数

年度	全ルート			西ルート左回り				
	利用者数	乗りこぼし発生件数	乗りこぼし人数	利用者数	乗りこぼし発生件数	うち1便	人数	うち1便
平成30年度	236,096	21	43	64,062	11	9	25	19
令和元年度	241,878	29	78	64,911	16	12	55	47
令和2年度	193,534	12	35	49,673	2	2	8	8
令和3年度	202,454	4	5	52,230	1	1	2	2
令和4年度	217,943	26	84	57,740	9	8	19	18
令和5年度	239,103	37	100	61,647	12	11	31	27
令和6年度	251,062	31	83	66,635	10	10	26	26

(2) 西ルート左回り（1便）での乗りこぼし発生件数

年度	西ルート左回り（1便）での乗りこぼし発生件数											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	0	1	0	1	0	1	5	0	0	0	0	1
令和元年度	4	1	3	2	0	0	2	0	0	0	0	0
⋮												
令和5年度	4	1	1	2	0	1	0	1	0	1	0	0
令和6年度	1	0	0	2	3	0	0	0	1	1	0	1
令和7年度	0											

→ 令和6年9月より試験運行開始

3 試験運行便の利用者数等（令和6年9月2日～令和7年3月31日）

- (1) 試験運行便の利用者数
- | 運行日数 | 利用者数 | 愛知医大での降車人数 |
|-------|------|------------|
| 142日間 | 939人 | 715人 |
- (2) 1便当たりの平均利用者数
- 6.6人
- (3) 1便当たりの最大利用者数
- 15人

4 試験運行便の利用者からの感想、意見

- ・ 試験運行便があるため、週1回、病院（愛知医大）に通い始めた。（80歳以上・南新町中畑から乗車）
- ・ 今まではタクシーで2,500円かけて移動していたこともあり、ありがたい。（70歳代・本地住宅から乗車）
- ・ 以前は家族の送迎だったが、この時間の運行は大変助かる。（50歳代・西部浄化センターから乗車）
- ・ いつもは1便に乘るが、検査がある日には試験運行便を月に2～3回利用している。（80歳以上・印場駅から乗車）
- ・ タクシーや知人に頼んで愛知医大に行っていたが、年金暮らしでタクシーは厳しい。1便で乗りこぼし起き、乗れないこともあった。病院は早い時間に着いても待てる環境なので、月に3回程度利用しているが、試験運行便は本当に助かっている。（80歳以上・本地住宅から乗車）

5 運行見直しの方向性

令和6年9月から令和7年4月までの試験運行の結果、西ルート左回り1便での乗りこぼし発生件数や乗りこぼし人数は、直近の令和5年度の実績や、利用者数の実績に近い令和元年度の実績と比較すると、微減となっている。

本格運行化の検討に当たっては、5月以降の引き続き利用状況を注視した上で、乗りこぼし対策の有効性を判断する必要があることから、試験運行期間を延長する。

6 試験運行に当たっての事前調整の状況

試験運行の実施について、現行の運行体制（人員体制、乗務員の拘束時間等）で対応できることを運行事業者に確認済み。